事例No.	873
公表年度	R1
団体の属性	町村
団体名	岡山県鏡野町

事例区分	一般行政

タグ	・人材確保・育成 ・組織改革 ・地域運営組織

事例種類	人材育成の取組事例

事例内容・タイトル

新たな組織「鏡野町森林づくりセンター」の開設

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年１月）

人材育成・担い手対策

岡山県　鏡野町（新たな組織「鏡野町森林づくりセンター」の開設）

わがまちの税活用方針

- 鏡野町は、町の面積の約87%を占める36千haの森林を有しており、その72%、26千haが人工林であり、戦後から高度経済成長期にかけて植えられたスギ、ヒノキが多く、木材として利用が可能な時期を迎えている。その一方で、木材価格の低迷による木材生産の減少、森林所有者の世代交代等による経営意欲の低下や所有者不明森林の増加や担い手不足といった多くの課題に直面している。
- このため、地域の森林整備を推進するために森林環境譲与税を活用して、鏡野町森林づくりセンターを開設、運営し、(1)森林経営管理制度推進事業、(2)木材需要拡大推進事業、(3)貯木場整備事業に取り組む

主な取組・概要

・本町の税活用方針に即し、事業化するもの

1　鏡野町森林づくりセンターの開設、運営

【事業費(内譲与税額)】：1,770(1,770)千円

センターに4名の職員を配置し、森林経営管理業務等をサポート

(1)森林経営管理制度推進事業

【事業費(内譲与税額)】：4,925(1,725)千円

【事業内容】：森林所有者への意向調査等の実施

(2)　木材需要拡大推進事業

【事業費(内譲与税額)】：2,000(2,000)千円

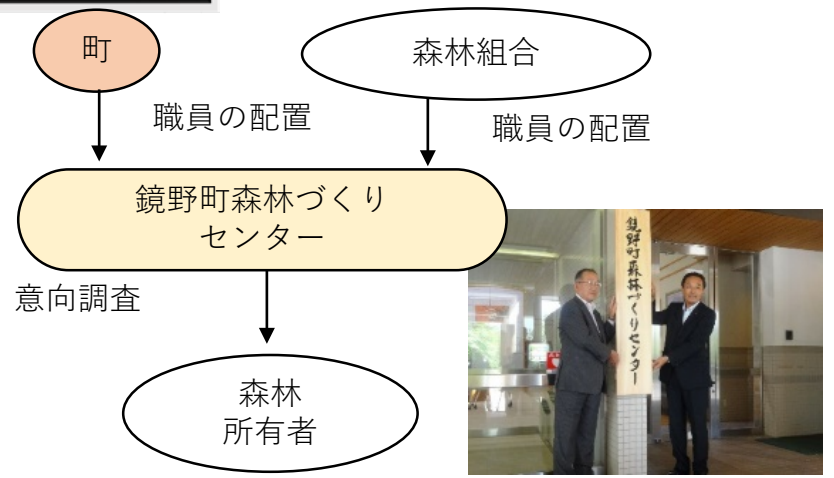
【事業内容】：幼児用玩具や学習机の開発・制作

(3)　貯木場整備事業

【事業費(内譲与税額】：4,000(4,000)千円

【事業内容】：町内産材の利用促進を図るための貯木場の整備

事業スキーム



工夫・留意している点、特徴等

・センターは森林経営管理法を推進するための組織で、町による設置は中国地方初。
・県に設置された人材バンクを活用し、県林業職ＯＢを地域林政アドバイザーとして雇用。
・センターが事務局となっている鏡野町森づくり協議会において、人材の育成、確保に係る施策の検討も行っている。